



よさこいソーラン（星置東小学校児童）

夏のフェスティバル 納涼盆踊り大会を開催 好天に恵まれ たくさんの来場者で賑わう

夢トピアの夏祭り「フェスティバル納涼盆踊り大会」が8月11日星置公園で開催されました。

朝から晴天に恵まれて気温もどんどん上昇、30度を超えちょっと暑いけど絶好のお祭り日和。

コロナによる中止後初の開催となった昨年から、各種感染症防止の一つとして、飲食の販売は露店ではなく、食品衛生許可を持つキッチンカーが主体となりました。

今年は昨年より更に台数も増え、各種のキッチンカーとノボリが会場を囲みました。

午前11:30の開場とともに来場者が訪れ、東小児童によるよさこい演舞などのパフォーマンスはたくさんの観客で囲まれました。

17:30からの子供盆踊り頃には来場者もピークとなり、子どもの数よりも多くの大人と一緒に盆唄に合わせてやぐらを回り大にぎわい。

18時の大人盆踊り、更に抽選会でお祭りの盛り上がりは最高潮に達しました。

まだ薄明るい午後7時には健康的に閉会となり、来場者はワイワイ語り合いながらそれぞれの家路につきました。お疲れさまでした。



会場を囲むキッチンカーの列



家族いっしょに参加の子ども盆踊り

≪かわいいパフォーマンスで華やかに盛り上がる



公園遊具の新しい流れ ＜今増えている「インクルーシブ遊具」とは＞

公園遊具シリーズ第3弾は、「インクルーシブ遊具」。

西区の農試公園に、札幌市で初めて「インクルーシブ遊具」を導入した遊具広場が、令和5年の春にオープンしました。

インクルーシブ遊具とは、「障害のある・なしや個性のちがいに関係なく、”みんなで遊べる”」遊具です。【インクルーシブ inclusive は「包括的な」「全てを包み込む」という意味】



農試公園の遊具広場

こうした公園は、障がいのあるなし、子どもか大人かにも関係なく、すべての人が利用できる「インクルーシブ公園」となり、地域の多様な人々が交流できる場となります。

農試公園の「インクルーシブ遊具」の一部を紹介します。



サポート付きブランコ



みんなで一緒に乗れる回転遊具



車いすに座ったまま遊べる砂場



車いすのままでも楽しめる複合遊具



一息付くシェルターとしても利用できるドーム遊具



インクルーシブではないけど、公園のシンボル「ガリバー遊具」



特集・・・星置の今と昔 (太陽、海王星、北斗星、水星町内会編)

今月号は再び、皆さんが暮らしている星置の地域、お宅はその昔、どんな土地だったのか、国土地理院の衛星写真を使ってご紹介していきます。今月は、星置地区センターに近接する太陽、海王星、北斗星、水星町内会周辺を見ていきましょう。

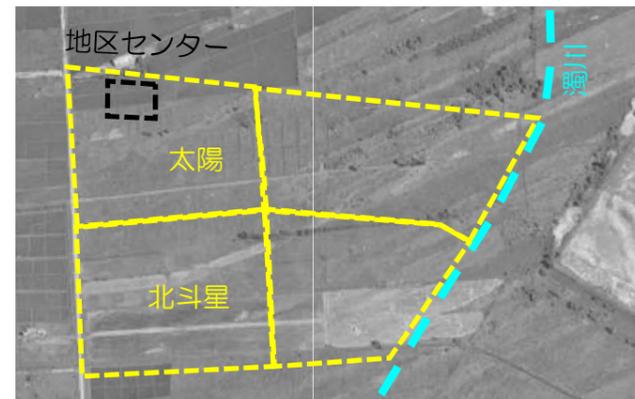
1960～1970年代、辺り一帯は原野となっています。1980年代には原野から一転、宅地造成、宅地内道路、排水整備が急速に進んでいるのがわかります。それ以降、2008年まで途中経過がわかる写真はありますが、この28年の間に現在の街並みがほぼ完成しております。

1980年代の星置は、JR星置駅や星置スケート場が開設しており、住宅街も一気に増え、1990年代に入ってから、マンションの建設ラッシュも始まり、人口増加とともに街が急成長しました。

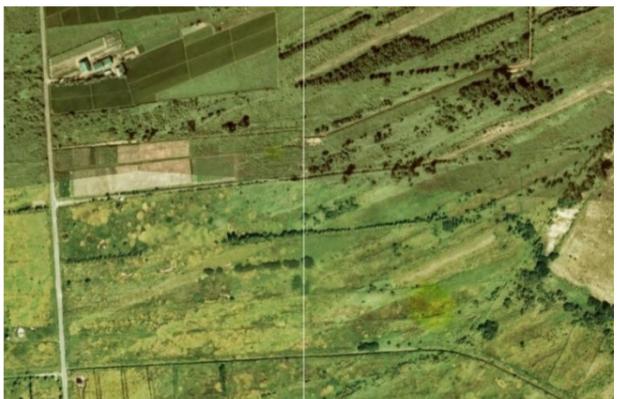
1989年(平成元年)に札幌市西区から分区、手稲区の誕生後、平成8年(1996年)4月には星置地区センターが開館しています。

また、2000(平成12年)年には、パストラル星置ショッピングセンター、2008年(平成20年)には、星置ファッションモールが開業し、生活の利便性も良くなりました。

1960年代



1970年代



1980年代



2008年



次回号は、今年の夏は暑かった?・・・7月から9月の最高気温を振り返ります(予定)。

コスモプラザの物置を撤去

8月19日コスモプラザの物置3棟が解体撤去されました。

コスモプラザの東側には、資源物を保管する「エコ・ボックス」、各部の資機材を保管する3棟の物置、商店街のイベント機材等を保管する物置の計5棟が有りました。

このうち3棟の物置は、イベントや事業に使われていた資機材を保管していましたが、現在はほとんど使われず、老朽化と基礎の沈下により積雪や強風時に倒壊の危険もあるので撤去することとなりました。

3棟のうち木造の1棟は解体し木と金属に分別、プレハブの2棟はトラックで処分場に搬出されました。

エコボックスは引き続き使われますが、線路側の商店街物置は今後撤去される予定です。



トラックに積んだ物置とクレーンで吊り上げ中の物置

～ほしおきの魅力再発見～ 第14回星置写真コンテスト 作品募集中

写真を通じて星置の魅力を発信する「ほしおき写真コンテスト」の応募作品を募集中です。

<応募締切> 10月29日(火)【必着】

<応募部門>

- 一般部門 (どなたでも参加可能)
- 18歳以下部門 (18歳以下の方が対象)
- スマホ部門 (スマートフォンで撮影した作品が対象)

上記3部門のいずれか1部門から1作品のみ応募できます。

作品は展示会や来年の星置のカレンダー「四季彩々」にも掲載されます。

【主催】夢のまちづくり星置・山口の会
(問合せ) 星置まちづくりセンター 011-695-3222



昨年度のスマートフォン部門最優秀賞
『ガラスの中の樹影』 庄司 まいさん



応募要領HP

社協の賛助会員を募集しています

手稲区社会福祉協議会(手稲区社協)では、誰もが安心して暮らすことができる「福祉のまちづくり」を進めるため、活動を資金面から支えてくださる賛助会員を募集しています。

(個人1口 1,000円/団体1口 10,000円)

申込は手稲区社協もしくは星置まちづくりセンター。

<問合せ>手稲区社協(011-681-2644)

